

圧迫骨折に対する体幹矯正ギプスについて

骨粗鬆症で骨が弱くなると、いつの間にか骨が潰れてしまう「**圧迫骨折**」を起こすことがあります。圧迫骨折になると、寝たり起きたりの動作や、寝返り、立ち上がりの際などに強い痛みを感じます。痛みを我慢して動いていると、背骨の潰れが進行し背中が曲がってきたり、骨が固まるのが阻害されます。痛みが強く家で寝たきりになっていると筋力が低下し、いざ動こうとした時に動けなくなることがあります。特に高齢者の方は、背骨に強い痛みを感じた際はすぐに整形外科を受診しましょう。

当院では、圧迫骨折が疑われた場合、MRI検査で診断を確定します。圧迫骨折があった場合は「**体幹矯正ギプス**」で体幹を固定し、背骨の圧壊進行を予防します。

原則として入院治療をおすすめしています。

入院中は、1日2回リハビリテーションを実施して、筋力低下・廃用症候群の予防をしています。



体幹矯正ギプスの効果は、以下の通りです。

①骨折している骨を出来限り潰さないようにする。

②安静が保たれ、痛みを軽減する。

③きちんと固定されるため、早期離床ができ、寝たきりの予防が出来る

開閉式になっており、取り外し可能で締め具合も調整出来ますが、入浴時・排便時・就寝時のみ除去を許可しています。体幹矯正ギプスは6週間ほど固定します。その間、絶対前屈にならないよう又就寝時は側臥位をとって頂くよう指導しています。その後は軟性コルセットを採型し、装着します。